

指定校番号	30013	<input type="radio"/>	学級活動	<input type="checkbox"/>	児童会活動	<input type="checkbox"/>	クラブ活動	<input type="checkbox"/>	学校行事
-------	-------	-----------------------	------	--------------------------	-------	--------------------------	-------	--------------------------	------

平成30年度生徒指導集中対策及び生徒指導実践指定校「特別活動の取組事例」

学校名	熊野町立熊野第四小学校	校長	吉田浩一	生徒指導主事	神信正彦
-----	-------------	----	------	--------	------

取組事例名 『いじめ撲滅キャンペーン』

取組における育てたい資質・能力

人間関係形成		社会参画		自己実現	
「課題発見・解決力」	2	「自己決定・主体性」	1	「自己理解」	3

取組のねらい『キーワード 未然防止』

いじめ未然防止の取組を行い、いじめのない学校をめざす。

取組の具体的内容『キーワード 思いを受け止め、思いを発信』

本校のいじめ防止等に関わる基本方針を基に、担任が各学級でいじめの定義について伝えることで、児童と共に定義について再確認する。

次に、県教委からのいじめに関する緊急メッセージを読み、メッセージに込められた思いを受け止める。

その後、一人一人がいじめをなくすためにできることを考え、自分の手形の中に宣言を書く。各学級で宣言を集め、パブリックスペース（廊下等）に掲示し、互いの宣言を知る。

取組の課題・創意工夫『キーワード 児童発信・自己決定』

人権週間に合わせ、児童委員会が朝会で、全校児童にいじめ撲滅を呼び掛けることで取組をスタートする。

一人一人の考えを集約するのではなく、一人一人の考えを大切にすると共に宣言に責任をもつ。

取組の成果（効果）『キーワード 自尊・他尊』

学校評価アンケート（児童 10月 肯定的回答の割合）

学校行事やたてわり班の中で周りの人を大切にすることができた。93.5%（5月 89.2%）

学校行事やたてわり班の中で自分の役割をがんばることができた。95.3%（5月 90.5%）

今後の展開『キーワード 繋ぐ』

一人一人の宣言を、掲示することで、他学年・他学級の思いを知ることができる。

手形の宣言文と同一のものをキャリアファイルに綴ることで、自己の成長・変容を知ることができる。

他教科との関わり『キーワード 自分事として考える』

道徳科では、自分事として考えることを学習過程において大切に授業展開を行っている。

この取組においても、いじめについて自分事として考えさせ、一人一人の思いを大切にしたい。

